

令和5年度 決算と事業の実績を お知らせします



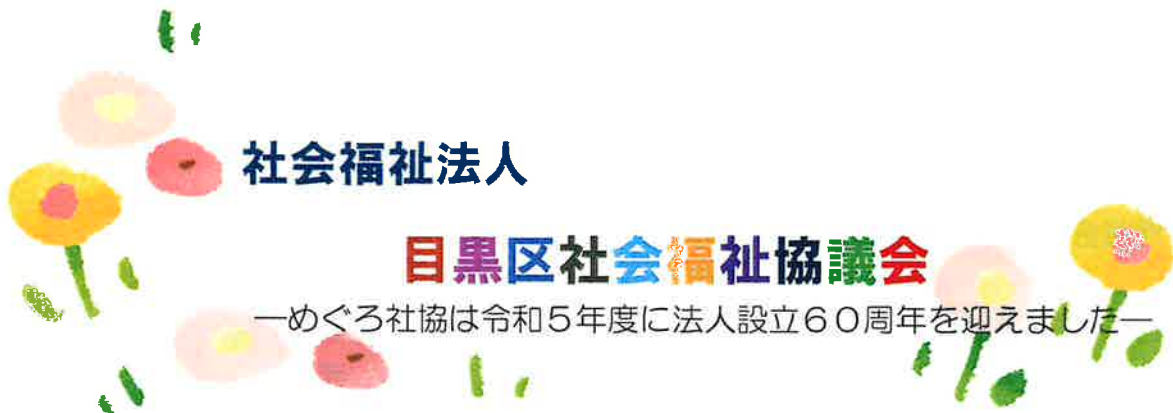
目黒区社会福祉協議会の事業は、皆さまの会費や寄付によるご支援、協力会員・ボランティアの方々の活動に支えられています。

今後とも、めぐろ社協の事業への一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

社会福祉法人

目黒区社会福祉協議会

—めぐろ社協は令和5年度に法人設立60周年を迎えました—



【目次】

●はじめに	P 2	●めぐろボランティア・区民活動センター	P 8・9
●決算、会員会費・寄付	P 3	●在宅福祉サービスセンター	P10
●普及啓発事業	P 4	●ファミリー・サポート・センター、障害福祉サービスセンター	P11
●広報活動、自動販売機管理事業	P 5	●生活支援・C S W体制整備事業	P12
●貸付事業、ハンディキャブ運行事業	P 6	●南部包括支援センター	P13
●歳末たすけあい・地域福祉募金、助成事業	P 7	●権利擁護センター「めぐろ」	P14・15
		●災害ボランティアセンター	P16

はじめに

【重点的な取組】

- 1 コミュニティソーシャルワークと生活支援体制整備事業との連携による解決力の向上
 - (1) コミュニティソーシャルワークの推進
 - (2) 地域における支え合いの仕組みづくり
- 2 成年後見制度の拡充



○コミュニティソーシャルワークの推進

地域での一人ひとりの個別支援相談から地域に埋もれた生活課題と向き合い、関係機関との連携により、地域での支え合いについて、強化を図ってきました。

また、フードバンク活動や子ども食堂での相談活動を行い、子どもの居場所について検討を行うとともに、小学生から高校生を対象とした居場所を開催しました。

○地域における支え合いの仕組みづくり

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、各地区協議体を対面で開催しました。

また、協議体主催のイベント等を企画し、地域の中で顔の見える関係づくり、ネットワークの強化を図りました。

○成年後見制度の拡充

講演会の開催や弁護士等による専門相談、第三者の後見人等を希望されるかたへの専門家の紹介等を通じ、成年後見制度の周知や制度利用の支援に取り組みました。

さらに、成年後見制度利用促進法に基づく「目黒区成年後見制度利用促進基本計画（令和6年3月）」策定に向けて、目黒区の調査・研究に協力しました。

決算

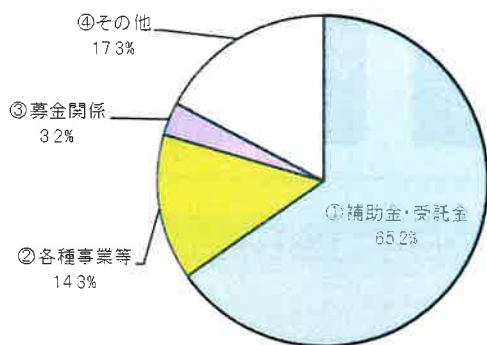
令和5年度も引き続き、効率的かつ効果的な予算執行に努めました。

※決算額は内部取引消去後の額です。

収入

収入内訳		[単位: 千円]	
収入合計		600,629	
① 補助金・受託金	391,528	③ 募金関係	19,479
補助金	194,393	歳末募金関係	6,978
受託金	197,135	共同募金関係	12,501
② 各種事業等	85,930	④ その他	103,692
介護保険	30,554	雑収入等	682
障害福祉	36,718	受取利息	905
事業収入	11,155	積立資産取崩	8,604
会費・寄付金	7,503	前年度繰越金	93,501

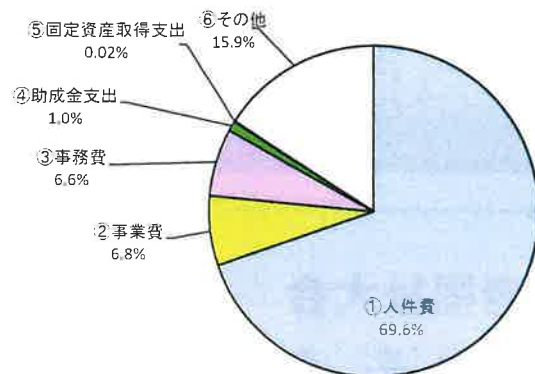
①は特定財源、②・③及び④の一部は自主財源



支出

支出内訳		[単位: 千円]	
支出合計		600,629	
① 人件費	418,233	② 事業費	41,033
③ 事務費	39,800	④ 助成金支出	5,823
⑤ 固定資産取得支出	146	⑥ その他	95,594
⑥ その他 (内、積立資産支出)	(4,174)		

600,629



会員会費・寄付

多くの皆さまからいただいた会費と寄付金は、地域福祉推進のため、有効に活用いたしました。心よりお礼申し上げます。

●社協会員会費●

賛助会員	26人	360,000円
個人会員	757人	1,334,000円
団体会員	206件	2,517,600円
合計	989件	4,211,600円

※ 前年度比 75,700円減

会費は次のように活用いたしました。

- ・ボランティア活動推進・・・97.5%
(ミニデイサービス等の推進)
- ・広報活動・・・2.5%
(社協だより発行等)

●寄付●

119件 3,078,805円

※前年度 127件 1,909,272円

個人・団体から寄付金品を受領し、地域福祉事業に活用いたしました。

令和5年度は、前年度に比べ、寄付件数は微減となりましたが、寄付額は増加しました。

普及啓発事業

「第20回めぐろ地域福祉のつどい」を開催しました。めぐろ社協法人設立60周年となる令和5年度は、4年ぶりに飲食ブースも復活し、盛況となる中、地域福祉活動団体の活動や、めぐろ社協のPRを行いました。

めぐろ地域福祉のつどい

11月3日（金・祝日） 中目黒GT

地域福祉に携わる全24団体が、活動紹介や自主製品の販売を通してPRを行いました。また、ステージ発表では、区内で活動している団体のパフォーマンスによって会場が盛り上がりました。それぞれの団体の活動を、より多くのかたにPRすることができました。



敬老福祉大会

9月29日（金） めぐろパーシモンホール

敬老の日を記念した敬老福祉大会を開催しました。

高齢社会を明るく、豊かで活力あるものにするため「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組む区内40の竹の子クラブのうち、令和5年度は34のクラブの方々が日頃の活動の成果を披露されました。



目黒リバーサイドフェスティバル

11月18日（金） 目黒区民センター

目黒リバーサイドフェスティバルに出展し、めぐろ社協のPRを行いました。

めぐろ社協のマスコットキャラクター「てってちゃん」を使用したチャリティグッズ「てってちゃんクッキー」を販売するとともに、めぐろ社協の事業内容や地域福祉活動団体の活動内容の紹介・PRをすることができました。



広報活動

区民や会員の皆さまに広く社協をPRし、ご理解・ご協力をいただくとともに、地域福祉情報をお知らせするための広報活動を行いました。

広報紙、ホームページ、フェイスブックのほか、YouTube チャンネルを開設しました。めぐろボランティア・区民活動センターでは X（旧ツイッター）による情報発信を行いました。

社協だよりを年4回（6・9・11・2月）発行し、引き続き有料広告を掲載しました。

また、法人設立60周年記念誌を発行し、めぐろ社協のこれまでの活動の経過や10年の歩みをまとめました。



*めぐろ社協HP

<https://www.meguroshakyo.or.jp/>



広報媒体名	発行回数
めぐろ社協だより「てって」	年4回
4年度事業報告書（会員向け）	年1回
社協のご案内（三つ折り）	隔年
ボランティアめぐろ	年12回
ボランティアめぐろ特別号	年1回
在宅福祉サービスセンターだより	年2回
ファミリー・サポート・センターおたより	年2回
南部包括だより	年3回
法人設立60周年記念誌	10年毎
ホームページ	随時更新
めぐろボランティア情報検索サイト	毎月更新
フェイスブック	随時更新
YouTube チャンネル （社協チャンネル）	随時更新

*めぐろ社協 フェイスブック

<https://www.facebook.com/meguroshakyo/>

*X（旧ツイッター） https://twitter.com/meguro_vc/

*YouTube チャンネル（社協チャンネル）

<https://www.youtube.com/channel/UCCnaY14FJc4Gx0Mbwo2W7DA>

自動販売機管理事業

10台の飲料自動販売機と1台の証明写真機を設置・管理し、販売手数料収入を自主財源として地域福祉事業に活用しました。



【設置台数・収入実績】

設置台数計	11台
手数料収入	2,999,347円

【自動販売機設置場所】

- ・証明写真機 … 目黒区総合庁舎本館1階
- ・飲料 … 碑文谷体育館、菅刈住区センター、南部地区サービス事務所、目黒本町福祉工房、スマイルプラザ中央町、特別養護老人ホーム東山、目黒区清掃事務所、清掃事業所

貸付事業



生活福祉資金貸付事業（福祉資金・教育支援資金、総合支援資金等）

東京都社会福祉協議会から委託を受け、生活福祉資金等の相談、貸付、償還業務を行いました。貸付から返済終了まで、地域の民生児童委員とともに相談援助活動を行います。生活困窮者自立支援法に基づく総合支援資金、緊急小口資金の利用に当たっては、区の自立相談支援機関と連携を図りながら対応しました。

生活福祉資金等貸付事業（件数・金額）

資金種類	相談(件)	申請(件)	決定(件)	貸付決定額(円)
教育支援費	412	20	20	14,287,000
福祉費	138	1	1	100,000
緊急小口資金（本則）	135	6	6	544,000
総合支援資金（本則）	72	0	0	0
不動産担保型生活資金 （要保護世帯向け含む）	25	0	0	0

緊急小口資金等特例貸付の借受人へのフォローアップ支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休業等により収入の減少があるかた等に対し、令和2年3月25日から令和4年9月末まで特例貸付の申請受付を行いました。令和5年1月から一部償還が開始となり、令和5年度は482件の償還免除・猶予等に関わる申請支援を行い、猶予となったかたのうち生活再建の見込みがないと判断される世帯に面談を実施し、見守り支援を行いました。

ハンディキャブ運行事業

公共交通機関（電車、バス、タクシーなど）を利用して外出することが困難な障害者や高齢者の通院・買い物などの社会参加を促進するため、車いすのまま乗ることのできるハンディキャブを、運転協力員の協力を得て運行しました。



利用登録者数	29人
利用者数	28人
運行回数	362回

運行回数は年により増減しますが、令和5年度は減少しました。

現在は会員制で運営しており、令和5年度は運転協力員8人体制で運行しましたが、新たな運転協力員の確保が課題となっています。

目黒警察署交通総務課職員を講師に招き、運転協力員対象の安全運転講習会を実施しました。

歳末たすけあい・地域福祉募金

めぐろ社協と民生児童委員協議会が実施団体となり、東京都共同募金会主催の歳末たすけあい・地域福祉募金活動に取り組みました。寄せられた募金は計画に基づき、令和5年度及び令和6年度に地域福祉の推進に役立てます。令和5年度は民生児童委員の皆さんとともに4年ぶりに街頭募金を実施し、区内の学校や子ども会の皆さんにも参加していただきました。



中高生による街頭募金



地域福祉活動助成

募金総額 18,133,444 円

(町会自治会：17,458,944 円、社協窓口・街頭募金等：674,500 円)

項目	使 途 内 容	金 額
地域福祉活動費 ※令和6年度使用	ボランティア・区民活動団体助成 高齢者・障害者団体等への助成	11,155,621 円
見舞金の贈呈	居宅ひとりぐらし高齢者 支援を必要とする世帯	5,818,000 円
募金活動諸経費	募金袋作成・通信費等 町会・自治会募金活動費	1,159,823 円

募金の活用状況：中央共同募金会ホームページ参照 <http://www.akaihane.or.jp/>

助成事業

「歳末たすけあい・地域福祉募金」「赤い羽根共同募金」を活用し、区内の福祉団体や施設の活動に対して助成しました。

【歳末たすけあい・地域福祉募金】

内 容	件数	助成額
竹の子クラブ及び同連合会への助成	40 件	1,267,080 円
障害者団体への助成	4 件	410,000 円
福祉施設への助成（高齢・児童・障害）	6 件	1,732,000 円
子ども会及び同連合会、 少年団体連絡協議会、家庭福祉員、 保護司会（社明運動）への助成	21 件	840,000 円
ボランティア・区民活動助成	9 件	450,000 円
就労移行支援、認証保育所	0 件	0 円
ミニデイ・サービス、ふれあいサロン、 子育てサロン活動助成	38 件	1,124,000 円
合 計	118 件	5,823,080 円

【赤い羽根共同募金】

社協において、赤い羽根共同募金実施分の地区配分の公募・受付を行い、共同募金会目黒区分推薦委員会の審議を経て、東京都共同募金会に配分推薦を行いました。

※ 24 件 674 万円

めぐろボランティア・区民活動センター

地域住民が主体的・積極的にボランティア活動や区民活動に参加することができるよう、NPO、ボランティアグループ、施設、企業等の福祉活動を支援するとともに、協働してさまざまな事業を実施しました。

ボランティア登録・紹介

【ボランティア登録】

ボランティア登録者数	797人
特技ボランティア登録件数	90件
ボランティア団体登録件数	63団体

【ボランティア活動の紹介者数】

個人ケースでの活動	1人
施設での活動	36人
ボランティアグループ・団体での活動	140人
特技ボランティアの紹介	46件

ボランティア講座・体験

	内 容	参加者数
ボランティア入門講座	ボランティアの心構え、ボランティアの活動紹介※	12人
ボランティア担当者連絡会	福祉施設等のボランティア受入れ担当職員向け連絡会※	14施設
ボランティア・区民活動登録団体情報交換会	個々の課題を通して異種団体との協働の可能性を探る	21人
青少年のためのボランティア体験事業	夏体験ボランティア2023（対象：小学生～大学生）	207人
地域活動団体、NPO法人との共催講座、運営支援等	共催講座「ハッピー健康フェスタ」 共催／NPO法人アトピーを良くしたい	50人
	共催講座「防災の三助 共助を高めて明日に備える！」 共催／NPO法人PAVLIC	21人
	共催パネル展「子どもたちと一緒にお話を楽しんでいます！」 共催／下目黒図書館の会	—
	NPO運営支援講座「伝える 伝わる印刷物のつくりかた」 講師：松本 孝一氏（デザイナー・アートディレクター）	9人
災害ボランティア入門講座	「災害が起きた時、あなたの力を活かすためにできることを考えよう」 講師：小野 修平氏（ジョージ防災研究所代表）	16人
ミニデイ・ふれあいサロン活動者研修会	本所防災館 体験ツアー	20人
登録説明会	地域支援課合同登録説明会	8人

※は会場・オンライン併用のハイブリッド開催

福祉体験学習（出張講座）

車いすや高齢者疑似体験、点字、手話などの知識のあるボランティアティーチャーとともに、学校や地域で福祉体験学習の出張講座を行いました。ボランティア活動の話や体験先の紹介も行いました。

体験先	参加数	参加者(延人数)
小学校	14カ所	1,941人
中学校	2カ所	123人
高校	1カ所	7人
その他	3カ所	72人
総数	20カ所	2,143人

ミニデイサービス・ふれあいサロン

自宅に閉じこもりがちな高齢者や障害者等のふれあい活動として、ボランティアが運営するミニデイサービスやふれあいサロンの広報・助成金等の支援を行いました。

グループ数	34団体
総開催回数	673回
参加者数(延べ)	4,618人
ボランティア活動者数(延べ)	2,531人



子育てサロン

子育て中の親子の交流や悩み、相談等の場として、子育てサロンの広報・助成金等の支援を行いました。

グループ数	4団体
総開催回数	46回
参加者数(延べ)	629人



ボランティア保険・行事保険

ボランティア活動中の事故、ボランティア活動団体等が主催する行事中の事故に備えて、ボランティア保険及び行事保険の加入手続きを行いました。

ボランティア保険	2,941人
行事保険	543件

車いす貸出・福祉機器リサイクル 紙おむつ配布・使用済み切手収集

車いす貸出	長期(3カ月まで)	101件
	短期(1週間)	92件
福祉機器リサイクル	登録件数	28件
	あっせん件数	21件
大人用紙おむつ	受付件数	83件
	配布件数	154件
使用済み切手	収集量	119kg

- 車いすの緊急・一時的な貸出を行いました。
- 不用になった介護用品(介護ベッドやポータブルトイレ等)の情報を登録・提供し、必要なかたにあっせんしました。
- 不用になった大人用紙おむつ等の寄付を受け付け、必要なかたに配布しました。
- 区民の皆さまに整理していただいた使用済み切手を収集・換金し、車いすを購入しました。

在宅福祉サービスセンター

住民参加型在宅福祉サービス



高齢者、障害者（児）等に対し、地域住民が協力会員となり、家事や介護、困りごとお助けサービス（電球交換や荷物の移動など）、窓拭き等の支援を行い、公的な制度では対応できない外出・通院介助、話相手などの依頼に対して柔軟に対応しました。また、会員や一般区民向けの研修を開催しました。

【会員数】

協力会員	176人
利用会員	159人

【利用回数（延べ）】

家事援助	3,399回
介護援助	528回
すっきりさせ隊	221回

【困りごとお助けサービス実績】

相談件数	65件
活動実績	40件

【訪問型支え合い事業実績】

利用者数	1人
担い手養成研修修了者	17人

【研修会】

研修会・講習会のテーマ	参加者数
介護援助入門研修（2回）	17人
訪問型支え合い事業担い手養成研修	17人
デジタル研修	6人
傾聴ステップアップ講座	12人
感情マネジメント講座	18人
協力会員交流会	15人



デジタル研修



介護援助入門研修

居宅介護支援事業

介護保険の要介護もしくは要支援の認定を受けたかたのケアプラン（介護サービス計画）を作成しています。介護保険のサービスだけではなく、目黒区の各種サービスや地域の社会資源、民間のサービス等も提案し、在宅生活を援助します。毎月、ケアマネジャーが契約者の自宅を訪問して状況を確認し、介護保険のサービス利用でよりよい生活ができるように支援しています。（年間給付管理件数 589件）

また、目黒区から要介護認定調査を受託し訪問調査を行いました。（年間 13 件）

ファミリー・サポート・センター

育児援助を希望するかた（ファミリー利用会員）に対し、育児援助を行っていただけるかた（ファミリー協力会員）を紹介し、地域における子育て支援を行いました。

【会員数】

利用会員	251 人
協力会員	417 人

（それぞれ両方会員 1 人含む）



協力会員基礎研修
「子どもの救命・応急手当」

【活動実績】

内 容	件 数
依頼総件数	3, 418 件
成立件数	3, 085 件
不成立件数	0 件
利用会員キャンセル件数	315 件
協力会員キャンセル件数	18 件
事務局キャンセル件数	0 件

令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、サポート利用対象と内容の制限を外したことに伴い利用件数が大幅に増加しました。援助内容では、保育園の送迎のサポートが増加し、活動時間については、「1 時間未満」の短時間の援助が約 6 割を占めました。

利用希望者を対象としたオンライン事業説明会を、年 18 回開催し、登録手続きを行いました。協力会員の基礎研修会については、実習のない講座をオンラインを併用して開催しました。また、5 年に一度の受講が義務付けられた「救命講習と事故予防」2 回を含むステップアップ研修を合計 4 回開催しました。

障害福祉サービスセンター

障害者総合支援法等に基づき指定障害福祉サービス事業者として障害福祉サービス（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）、移動支援事業を実施しました。

【利用状況】

障害福祉サービス	サービス利用者数 43 人	派遣回数 4, 450 回
移動支援事業	サービス利用者数 14 人	派遣回数 2, 426 回

また、目黒区からの委託を受け心身障害者（児）緊急時等見守り事業を実施しました。

（登録者 8 人、延べ利用時間 117 時間）

生活支援・CSW体制整備事業

地域の支え合いを広げるための話し合いの場である協議体の運営と生活支援サービスを広げる調整を担う生活支援コーディネーターを配置しています。令和3年度からは、制度の狭間の相談に対応するコミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）を兼務しています。



●協議体

対面での会議や地域情報誌の発行、イベント等の取り組みを行いました。

北部いきいき  支え合いネットワーク (ほくいきネット)	【会議6回開催】北部いきいきおでかけマップの作成に向けた検討 「北部いきいきふれあいひろば」開催に向けた検討
東部ふれあい協議会  (とうふれ協議会)	【会議5回開催】東部ふれあいフェスティバル、とうふれ交流会の企画 11月19日「東部ふれあいフェスティバル」196人参加 12月11日「東部ふれあいフェスティバル交流会」22人参加
中央まるごとネットワーク  (まんなかネット)	【会議6回開催】ささえあいガイドの配布について、体験会企画 11月18日～12月12日「地域活動体験会」17人参加
南部支え合いまち会議 (なんまち会議)	【会議6回開催】「支え合いまち講座」の企画、実施後の振り返り 4月18日／11月28日「支え合いまち講座」合計52人参加
西部支え合いまち会議 (にしまち会議)	【会議5回開催】「にしまちいきたより」の配布先の検討など 10月6日「支え合い・いどばた会議」東根編61人参加 3月1日「支え合い・いどばた会議」大岡山西編34人参加

●コミュニティ・ソーシャルワーク事業

高齢者・障害者・児童など全ての人を対象に、暮らしや地域の困りごとに対し、地域住民や関係団体とともに解決に向けて取り組みました。またCSWの周知活動や出張相談のほか、ひきこもりに悩むご本人やご家族に向けた支援、食支援活動を行う団体や関心のあるかたを対象にした情報交換会、子どものサードプレイスについて、活動者による事例発表や意見交換を実施しました。

一年間の相談件数としては、新規相談が127件、継続相談が延べ1,612件でした。CSWの活動件数では、訪問1,293件、来所157件、電話1,709件、その他809件で合計3,968件となりました。

ひきこもり家族会	【開催回数】11回実施 【参加人数】94人【内容】近況報告、情報共有
家族のためのひきこもり学習会	【開催日】1月13日 【参加人数】40人 【内容】「こころがホッとする居場所がありますか?」、茶話会
子どものサードプレイスを考える	【開催日】11月8日 【参加人数】26人 【内容】ゲストスピーカーによる活動紹介、グループトーク
食の循環で笑顔もひろがる ～めぐろの食支援とつながろう～	【開催日】12月16日 【参加人数】36人 【内容】食支援団体の活動紹介、グループトーク、情報交換
NPO 法人楽の会リーラ共催 「居場所の出前」	【開催日】3月17日 【参加人数】27人 【内容】ひきこもり当事者や家族等を対象にした茶話会など
いどりふれいす	【開催日】3月23日 【参加人数】87人 【内容】東京都写真美術館での小～高校生のためのプログラム体験

南部包括支援センター



「すべての区民を対象とした地域包括ケアシステムの地域拠点」として保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員・介護支援専門員がそれぞれの専門性を生かし、区民生活の総合的支援に努めました。（目黒区からの受託事業）

総合相談・支援

介護・福祉・保健・医療などに関する相談に応じ、介護保険や保健福祉サービスなどの関係機関につなげました。

相談件数	10,944 件
------	----------

権利擁護事業

高齢者の権利が侵害されないよう関係機関と連携し、相談に応じました。

民生児童委員、介護サービス事業所、地域の方々への研修を行うなど、高齢者虐待の予防・早期発見に努め、地域のネットワークの強化を図りました。

高齢者虐待に関する相談件数	65 件
消費者被害に関する相談件数	36 件
成年後見・日常生活自立支援に関する件数	156 件

一般介護予防事業

介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業で 65 歳以上のかたを対象にした介護予防教室や地域の日常的な介護予防活動に対して支援をしました。

地域活動支援件数	延べ 45 件
----------	---------

各種の受付・相談業務

介護保険や高齢福祉サービス事業等の申請を受け付けました。地域の全ての住民を対象とした福祉の総合的な相談窓口として障害者、生活保護、医療、保健、年金等の相談を受け、担当所管へつなぐ役割を果たしました。

介護保険認定申請の受付等	3,627 件
高齢者・障害者の保健福祉サービス受付等	901 件
保健福祉の総合相談支援	245 件

包括的・継続的ケアマネジメント事業

主任ケアマネジャーを中心に多職種連携会議を企画したほか、地域のケアマネジャーを支援しました。

地域のケアマネジャーからの相談や助言	145 件
南部地区ケアマネジャー連絡会	3 回
地域の主任ケアマネジャー連絡会	6 回

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

介護保険で事業対象者のかたや、要支援 1・2 と認定されたかたなどの介護予防ケアプランを作成しました。

給付管理件数（直営）	2,765 件
給付管理件数（委託）	1,753 件
合 計	4,518 件

高齢者見守り訪問事業

65 歳以上の高齢者のかたを対象に地域の見守りボランティアが定期的に見守りを行いました。

見守り高齢者 7 件（休止中含む）

※令和 5 年度末現在



認知度向上への取組

南部包括だよりの発行（計 3 回）や出張相談会（向原住区センター、目黒本町社会教育館、イオンスタイル碑文谷）の開催、ミニデイサービス・ふれあいサロンやなんまち会議等に出席し、事業説明や講話を行いました。

権利擁護センター「めぐろ」

高齢者や障害者の方々が、安心して自立した生活を送れるよう、日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用支援事業等を実施しました。

市民後見人養成講習の実施、講演会の開催、区民のかたへ当センター事業や後見制度等の周知、職員や専門職による個別相談等を行うとともに、「目黒区保健福祉サービス苦情調整委員」事務局として苦情相談の受付等に対応しました。

日常生活自立支援事業・ 身体障害者等福祉サービス利用援助事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者及び加齢や身体障害・難病罹患等により支援が必要なかたに、「福祉サービスの利用援助」や「日常的な金銭管理」等のサービスを提供しました。

	日常生活 自立支援事業	身体障害者等福祉 サービス利用援助事業
新規契約数	12 件	1 件
解約数	14 件	1 件
5年度末契約数	39 件	4 件

成年後見制度利用支援事業

【市民後見人養成講習の実施】

平成 26 年度から養成、選任、その後の支援を含め、取組を一体的に進める体制に移行し、研修内容の充実に努めています。令和 5 年度は新規募集を実施せず、既登録者に対しフォローアップ研修を実施しました。



市民後見人養成講習修了後 候補者名簿登録者数	49 人
---------------------------	------

【後見人等紹介】

区民の方々が成年後見制度を身近なものとして利用できるように、成年後見制度推進機関として制度の周知や利用支援の充実・拡大を図りました。

候補者名簿登録者数	75 人
後見人等の紹介件数 (うち団体等の紹介件数)	41 件(0 件)
後見人等以外の紹介件数 (相続・財産管理など)	10 件

【講演会の開催】

後見制度の周知を図るため、「めぐろ成年後見ネットワーク」主催による区民向け講演会及び権利擁護センター主催による制度や相続、終活に関する講演会と相談会を開催しました。

このほかに、「めぐろ成年後見ネットワーク」から団体向け出張講座へ講師を3回派遣しました。

「めぐろ成年後見ネットワーク」主催講演会	2回
権利擁護センター「めぐろ」主催 エンディングサポート事業 講演会・相談会	2回

【法人後見事業の推進】

令和5年度末受任件数

法定成年後見人の受任	6件
法人後見監督人の受任	6件
任意後見人の受任	1件
見守り・財産管理委任契約、死後事務委任契約	1件



相談事業（一般相談・専門相談）

職員による一般相談のほか、成年後見制度の利用や遺言、相続、財産管理などの専門的な相談を弁護士や司法書士がお受けしました。

一般相談件数

	相談件数
権利擁護	2,201件
成年後見制度等	1,097件
苦情相談	136件
その他	51件
合計	3,485件

専門相談件数

	相談件数
法定後見	60件
任意後見	6件
遺言作成	4件
財産相続（管理）	6件
権利侵害	2件
その他	2件
合計	80件

苦情調整事業

区民のかた等から保健福祉サービスに関する苦情を受け付け、「目黒区保健福祉サービス苦情調整委員」へ引き継いでいます。

また、保健福祉サービスの質の向上を目指す観点から、サービスにかかる行政職員との意見交換会を行いました。



苦情受付件数

	相談件数	申立て件数
介護保険	34件	1件
高齢者	2件	0件
保健	9件	0件
障害者	8件	0件
総合支援法	44件	2件
低所得	18件	0件
子育て支援	9件	1件
保育	11件	1件
その他	1件	0件
合計	136件	5件

災害ボランティアセンター

地震や風水害などの大規模な災害に見舞われた場合、災害ボランティアセンターを設置し、被災現場の支援ニーズを把握・整理して、支援活動を希望するボランティアにつなげます。

令和5年度は、NPO 法人共催講座「防災の三助共助を高めて明日に備える！」や災害ボランティア入門講座「災害が起きた時、あなたの力を活かすためにできることを考えよう」を実施しました。

また、社協職員向けの「災害ボランティアセンター立上げ訓練」を実施し、平常時からの取組の大切さについて学びました。



社会福祉法人 目黒区社会福祉協議会

〒153-0051 目黒区上目黒2-19-15 目黒区総合庁舎別館3階

ホームページ <http://www.meguroshakyo.or.jp/>

Eメール soumu@meguroshakyo-i.net

開所時間 (月)～(金) 8:30～17:00

総務課

FAX 03(3719)8715

総務係・財務係

TEL 03(3719)8909 (代表)

事業係

TEL 03(3711)4995

地域支援課

FAX 03(3711)4954

ささえあい係

TEL 03(5708)5792

在宅福祉サービスセンター

(住民参加型事業)

TEL 03(3714)2841

(介護支援事業)

TEL 03(5725)2887

障害福祉サービスセンター

TEL 03(5708)5791

ファミリー・サポート・センター

TEL 03(3714)9047

権利擁護センター「めぐろ」

〒153-0051 上目黒2-19-15 目黒区総合庁舎1階

TEL [権利擁護] 03(5768)3964 [苦情調整] 03(5768)3963

FAX 03(5768)3965

Eメール kenri@meguroshakyo-i.net

開所時間 (月)～(金) 8:30～17:00

目黒区南部包括支援センター

〒152-0003

碑文谷1-18-14 碑小学校内南西側

TEL 03(5724)8033

FAX 03(3719)2031

開所時間 (月)～(金)

8:30～19:00

(土) 8:30～17:00

めぐろボランティア・区民活動センター

〒153-0061

中目黒2-10-13 中目黒スクエア1階

TEL 03(3714)2534

FAX 03(3714)2530

開所時間 (火)～(土)〔祝日と第2木曜を除く〕

8:30～19:00

Eメール vo-c@meguroshakyo-i.net